



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	84,513	1.0	14,736	3.3	14,213	△6.1	10,596	△4.9
28年3月期第2四半期	83,670	4.7	14,265	14.1	15,131	18.9	11,147	26.0

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 7,448百万円(△22.0%) 28年3月期第2四半期 9,554百万円(△6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	69.00	—
28年3月期第2四半期	71.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	204,725	155,053	75.0
28年3月期	228,169	156,924	68.1

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 153,561百万円 28年3月期 155,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	18.00	—	26.00	44.00
29年3月期	—	24.00			
29年3月期(予想)			—	26.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,500	2.0	29,900	4.5	29,700	0.6	22,500	0.7	146.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.6「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	154,000,000株	28年3月期	156,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,204,626株	28年3月期	1,620,587株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	153,577,606株	28年3月期2Q	156,554,994株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成28年11月4日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)の国内景気は、雇用環境の改善、原油安などプラス要素があった一方、消費マインドの足踏み、円高と世界経済の先行き不透明感から、横ばいの状況が続きました。

当社グループの事業につきましては、化学品部門は、為替の影響により減収を余儀なくされました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料の販売が好調でしたが、半導体材料、無機コロイド材料は低調でした。農業化学品部門は、フルラネル(動物用医薬品原薬)の出荷が順調でした。医薬品部門は、「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬の国内向けが苦戦しました。

この結果、当期間における業績は、売上高845億13百万円(前年同期比8億43百万円増)、営業利益147億36百万円(同4億70百万円増)、経常利益142億13百万円(同9億17百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益105億96百万円(同5億50百万円減)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

ナフサをはじめとする原燃料価格の下落を受けて、アンモニア系製品の収益性が向上しました。基礎化学品では、メラミン(合板用接着剤原料等)の輸出および「アドブルー」(高品位尿素水)の販売が増加しましたが、ファインケミカルでは、「テピック」(封止材用等特殊エポキシ)が円高の影響を受け減収となりました。

この結果、当部門の売上高は165億38百万円(前年同期比2億3百万円減)、営業利益は13億24百万円(同81百万円減)となりました。

機能性材料部門

ディスプレイ材料では、「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)のスマートフォンなど中小型向けが好調に推移しました。半導体材料では、半導体用反射防止コーティング材(ARC®)および多層材料(OptiStack®)が一部顧客の稼働率低下の影響を受けました。無機コロイド材料は、「スノーテックス」(電子材料用研磨剤、各種表面処理剤等)の電子材料用研磨剤向けが減少しました。

この結果、当部門の売上高は255億8百万円(前年同期比5億31百万円減)、営業利益は61億66百万円(同1億72百万円減)となりました。

*ARC®およびOptiStack®はBrewer Science, Inc.の登録商標です。

農業化学品部門

国内は一般家庭向け除草剤の「ラウンドアップ」AL剤は拡大しましたが、全般的に荷動きが悪く、当社製品販売は低調となりました。一方、フルラネルは、好調な出荷となりました。

この結果、当部門の売上高は239億83百万円(前年同期比28億43百万円増)、営業利益は68億52百万円(同6億30百万円増)となりました。

医薬品部門

「リバロ」原薬の出荷は、国内では後発品の増勢により減少しましたが、海外では特にアジア向けで伸長しました。「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、堅調に推移しました。

この結果、当部門の売上高は36億90百万円(前年同期比51百万円減)、営業利益は6億17百万円(同0百万円増)となりました。

卸売部門

当部門の売上高は276億14百万円(前年同期比93百万円増)、営業利益は8億42百万円(同13百万円減)となりました。

その他の部門

当部門の売上高は85億91百万円(前年同期比2億96百万円減)、営業利益は12百万円(同41百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比234億43百万円減の2,047億25百万円となりました。

負債も短期借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比215億72百万円減の496億72百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比18億71百万円減の1,550億53百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比6.9ポイント増加し、75.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、294億26百万円の収入（前年同期は276億42百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入、研究開発部門などの設備投資による支出などにより、45億9百万円の支出（前年同期は46億54百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払、自己株式の取得による支出などにより、265億65百万円の支出（前年同期は272億87百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額3億95百万円、連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額25百万円を調整した結果、332億66百万円（前年同期は269億31百万円）となり、前連結会計年度末に比較して20億69百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、第2四半期累計期間および足元での需要予測をもとに、前回発表予想値を下記の通り修正いたしました。なお、下半期のナフサ市況については34,400円/k1、為替については1米ドル105円を前提としています。

平成29年3月期 通期連結業績予想 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	187,500	29,700	30,400	23,000	150円18銭
今回発表予想 (B)	180,500	29,900	29,700	22,500	146円88銭
増減額 (B-A)	△ 7,000	200	△ 700	△ 500	—
増減率 (%)	△ 3.7%	0.7%	△ 2.3%	△ 2.2%	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	176,894	28,606	29,531	22,350	143円37銭

平成29年3月期 通期部門別連結売上高および営業利益予想 (単位：億円)

		前回発表予想	今回発表予想	増減
売 上 高	化学品	354	341	△ 13
	機能性材料	553	525	△ 28
	農業化学品	521	522	1
	医薬品	74	76	2
	卸売	600	582	△ 18
	その他	232	234	2
	調整額	△ 459	△ 475	△ 16
	計	1,875	1,805	△ 70
営 業 利 益	化学品	49	37	△ 12
	機能性材料	117	117	—
	農業化学品	113	128	15
	医薬品	14	14	—
	卸売	19	19	—
	その他	8	7	△ 1
	調整額	△ 23	△ 23	—
	計	297	299	2

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで、企業価値の向上を図っております。株主還元につきましては、平成28年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」において、配当性向を平成31年3月期に向けて40%まで段階的に引き上げることに加え、総還元性向70%の維持を目標といたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,335	33,266
受取手形及び売掛金	57,606	43,550
商品及び製品	30,198	28,407
仕掛品	43	676
原材料及び貯蔵品	8,266	7,740
その他	10,765	6,826
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	142,181	120,436
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,635	22,343
その他(純額)	24,826	26,242
有形固定資産合計	47,461	48,586
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	901	1,489
無形固定資産合計	903	1,490
投資その他の資産		
投資有価証券	33,251	28,742
その他	4,539	5,638
貸倒引当金	△167	△168
投資その他の資産合計	37,623	34,213
固定資産合計	85,988	84,289
資産合計	228,169	204,725

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,350	13,081
短期借入金	25,998	9,872
未払法人税等	4,576	3,131
賞与引当金	1,874	1,882
役員賞与引当金	21	15
環境対策引当金	350	94
その他	9,765	10,850
流動負債合計	57,937	38,927
固定負債		
長期借入金	7,100	5,620
事業構造改善引当金	680	669
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	102	94
その他	5,115	4,051
固定負債合計	13,307	10,744
負債合計	71,244	49,672
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	115,878	116,608
自己株式	△4,281	△3,585
株主資本合計	144,151	145,576
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,515	8,198
為替換算調整勘定	171	△731
退職給付に係る調整累計額	554	517
その他の包括利益累計額合計	11,241	7,984
非支配株主持分	1,531	1,491
純資産合計	156,924	155,053
負債純資産合計	228,169	204,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	83,670	84,513
売上原価	49,004	48,644
売上総利益	34,665	35,869
販売費及び一般管理費	20,400	21,133
営業利益	14,265	14,736
営業外収益		
受取利息	6	8
受取配当金	245	289
投資有価証券売却益	62	220
その他	1,259	372
営業外収益合計	1,574	890
営業外費用		
支払利息	110	87
為替差損	-	634
製品補償費用	150	-
その他	447	690
営業外費用合計	708	1,413
経常利益	15,131	14,213
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	15,131	14,213
法人税、住民税及び事業税	3,981	3,484
法人税等調整額	△94	55
法人税等合計	3,886	3,540
四半期純利益	11,244	10,673
非支配株主に帰属する四半期純利益	97	76
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,147	10,596

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	11,244	10,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,234	△2,317
為替換算調整勘定	△413	△870
退職給付に係る調整額	△42	△37
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△1,690	△3,224
四半期包括利益	9,554	7,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,518	7,436
非支配株主に係る四半期包括利益	35	12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,131	14,213
減価償却費	4,446	4,085
受取利息及び受取配当金	△251	△297
支払利息	110	87
固定資産処分損益(△は益)	130	261
売上債権の増減額(△は増加)	14,490	13,567
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,231	1,397
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,542	△2,055
その他	1,168	1,854
小計	31,453	33,114
利息及び配当金の受取額	311	1,321
利息の支払額	△111	△88
法人税等の支払額	△4,011	△4,921
営業活動によるキャッシュ・フロー	27,642	29,426
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△6	△5
投資有価証券の売却による収入	109	2,887
有形固定資産の取得による支出	△4,308	△5,322
有形固定資産の除却による支出	△96	△183
無形固定資産の取得による支出	△84	△833
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△271	115
長期前払費用の取得による支出	△481	△612
その他	483	△554
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,654	△4,509
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△16,355	△16,009
長期借入金の返済による支出	△1,370	△1,480
配当金の支払額	△3,469	△4,013
非支配株主への配当金の支払額	△70	△52
自己株式の取得による支出	△6,000	△5,000
その他	△21	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,287	△26,565
現金及び現金同等物に係る換算差額	△172	△395
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,473	△2,044
現金及び現金同等物の期首残高	31,343	35,335
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	61	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△25
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,931	33,266

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年4月25日の取締役会決議に基づき、平成28年5月10日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。加えて、平成28年8月23日の取締役会決議に基づき、平成28年8月31日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金が5,695百万円、自己株式が5,695百万円減少しております。

また、平成28年5月12日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が4,999百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,297	23,032	19,236	3,742	21,484	3,876	83,670	—	83,670
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,444	3,008	1,903	—	6,036	5,011	20,404	△20,404	—
計	16,742	26,040	21,140	3,742	27,521	8,888	104,075	△20,404	83,670
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,405	6,338	6,221	617	856	△28	15,410	△1,144	14,265

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,144百万円には、セグメント間取引消去△146百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△998百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	12,170	22,475	21,876	3,664	20,766	3,546	84,499	14	84,513
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,368	3,033	2,107	26	6,847	5,045	21,428	△21,428	—
計	16,538	25,508	23,983	3,690	27,614	8,591	105,927	△21,414	84,513
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,324	6,166	6,852	617	842	12	15,815	△1,079	14,736

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,079百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに帰属していない売上高14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,061百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。